7. 今後の教育のあり方を踏まえた教育環境の整備について

(1) 市の教育大綱や今後の教育ビジョンとの整合

子どもたちのより良い教育環境という視点でこれからの学校のあり方を考える際は、市は今後どのような教育の中身を描いているのかといった教育ビジョンと関連付けて検討する必要があります。具体的には、少子化が進み児童生徒の数が減ってきているので統合を検討しますといった容易な理由だけでなく、市が目指す子ども像や子どもたちに新しく求められている学力観や多様な能力を育てていくための機会として捉え、積極的に学校教育の充実という方向に結び付けていくべきだと考えます。

(2) 小中一貫校を検討する際の留意点について

本審議会では、適正な学校規模を確保するための方策の一つとして、「施設一体型小中一貫校」の例を示していますが、これは小中学校の教育課程や教育カリキュラム、教育活動等これまでの学校運営のあり方を大きく変える形態になります。よって、まずは市として小中一貫教育のあり方をしっかりと定めておく必要があります。